

豊中市立第十五中
学校だより

一期一会

I CHIGO I CHIE



日々是好日 Every day is a good day.
にちにはこれいじつ
さあ、みんな元気で、新しい日々を



→ 12/16、17 3年希望者 自己申告書書き方講座
 ぬき目標に向け、あこしー!

【2026年のスタートに】

「日々是好日」は中国唐時代の禅僧、雲門文偃うんもんぶんえんのことばとされています。

「毎日毎日が良い日である」という意味なのですが、「二度と来ないその時間を一杯生かすことが、良い日につながる」とか、「毎日が良い日であると心得て前向きに生きよう」などと解釈され、使われています。

そうは言っても、苦しく、つまらなく、うまくいかない日や時間、瞬間があるのが人生というもの。

悩みや失敗、どうしようもないピンチはつらいけれども、きのうはきのう、きょうはきょう。きのうの苦勞をきょうまで持ち越すことはない。切り替える心を大事にしたいといつも考えています。

年の初めにこの言葉を贈るとともに、私自身も元気で、新しい気持ちを大切に毎日を通していききたいです。

【自分や所属の良さ発見3】

第1号(4月)、3号(6月)でこのことに触れましたが、十五中の良さについて、4月からの8か月間で感じたことから3つを記します。

●あいさつができる
 一昨年の着任当初から感じていたことですが、生徒会の取組みなどもあり、生徒間や生徒、教職員間で気持ちよくあいさつができる人が多いです。来校者から褒めていただくこともよくありました。

●行事が素晴らしい
 行事当日に盛り上がったたり、頑張ったりするのはどの学校でも当たり前にあることなのですが、学年やクラスで取り組んでいく過程が十五中では素晴らしいと感じます。

「合唱コンクール」へ向けて、これから仕上げに入っていきますね。歌声が楽しみです。

●学びへの姿勢が良い
 授業やさまざまな場面で、真剣に、時には和やかに学び合う雰囲気などのクラスからも感じられます。

工夫して、協力して、苦勞して取組んでいく姿をこれからも応援していきます。

【良いところを語り合おう】

1階ろうかに展示中の作品前にいた生徒の会話に加わり、絵画(生徒作品)の良さについて話しをしました。

3人とも「推し」の作品は違い、惹かれるポイントもそれぞれでした。

色彩・構図・筆致の味わい、作品の世界観など、鑑賞者同士の意見交流により、新たな感じ方が芽生えてきます。

「何となく感じていた良さ」を言語化することで、見方や世界が広がります。そのような学びや語りのある毎日を大事にしたいと思います。

【1/8 始業式の話から】

生徒指導担当から、公共の場での振る舞いについての注意がありました。

これは、安心・安全なまち、気持ちよく過ごせるまちづくりにも関わることでであると聞いて感じました。

ちょうどそんな時、豊中市より「みんなであそぼうみらいのとよなか」の意見募集(第2弾)のお知らせがありました。

みなさんは十五中生であるとともに、未来を担う豊中市民の一人でもあります。理想のまちな姿について考えてくれれば嬉しいです。

しきおりお 四季折々(冬)

にじゅうしせつき しょうかん
 二十四節気の小寒(1/5)と
 だいかん
 大寒(1/20)のちょうど真ん中の頃となり、寒さも増してきました。



じゅうがつざくら
 そんな寒空の中で、西門入ってすぐの十月桜が咲いています。年に2回開花するという珍しい桜なのですが、この十五中の木は、いつもこの時期に開花しています。

満開にはならないのですが、当分の間は、ちらほらと咲く姿に、春の桜とは違う風情が楽しめそうです。

西門入って右手のフェンス沿いに7本、正門入っての左手に3本あるナンテンの真っ赤な実が鮮やかです。

実がない季節は見逃しがちな小さな木ですが、草木の彩りが乏しい冬にはひときわ輝く存在です。

古くから「難を転じる」縁起の良い木として重宝されてきたナンテン。その実は野鳥の好物でもあります。